



## 学校訪問で児童らと交流

事前合宿の最終日、選手らは、菱田小学校と大崎小学校を訪問し、児童らと交流しました。

菱田小学校では、特別に学年の授業を体育に変更し、チーム代表のデクスター氏による陸上教室が開催されました。陸上教室では、主に走る姿勢について教わり、児童らは選手たちと貴重な時間を過ごし、激励幕の贈呈などをおして、交流しました。

大崎小学校では、昼休み時間を利用し選手らと交流しました。交流会では、選手への質問タイムや児童が手作りした金メダルを贈呈したりと和やかな雰囲気が進められました。

児童らは、最初は初めて出会ったトリニダード・トバゴの選手らに緊張していたかもしれませんが、交流していく内に緊張がほぐれ、笑顔が増えていきました。

最後は全員と記念撮影をし、バスに乗り込む選手らを大手を振って見送りしました。



## 世界リレー大会で金メダル

大崎町で4泊5日の事前合宿を終えた選手たちは、『IAAF世界リレー2019横浜大会』に出場するため、大崎町を旅立ちました。

5月11日と12日に横浜で開催された『IAAF世界リレー2019横浜大会』は、国際陸上競技連盟(IAAF)が主催するリレー種目のみを行う国際競技大会です。今回初めて日本の横浜国際総合競技場で開催され、トリニダード・トバゴ代表は、男子4×400mリレーと女子4×100mリレーにそれぞれ出場しました。

女子の結果は予選第1組を3着で終え、予選敗退という結果でしたが、43秒67とシーズンベストのタイムを出しました。

男子の結果は、余裕をもって予選を突破し決勝へ進みました。決勝はアメリカ代表と熾烈な1位争いの結果、第4走者の選手が猛烈な追い上げを見せ、見事金メダルに輝きました。

## ホストタウンのこれから

大崎町はトリニダード・トバゴ共和国を相手国としたホストタウンに登録されています。

今後大崎町は、2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿地に選ばれるよう活動を継続していきまします。ホストタウンをおして、相手国と地域住民や児童との交流を大切にし、絆を醸成していくことが大切だと感じています。『日本だけでなく、この国も応援したい!』と思えるような国際交流をホストタウンから生み出していきたいと思えます。

